

SS-OCTバイオメーターの 新星!

機能から運用まで詳しく紹介します!

日時/会場

2022年10月15日(土) 12:10~13:10
第11会場(東京国際フォーラム 4階 G409)



座長

神谷 和孝 先生

北里大学 医療衛生学部 教授

近年の眼内レンズは、単焦点はもとより、トーリック、多焦点、ICLなど多様化と更なる進化を遂げつつあり、白内障手術や屈折矯正手術における術前検査では、眼軸長検査にとどまらず様々な前眼部の形状や屈折系のデータが要求されるようになりました。

この度発売されたアイスター900は、レンズスター900の上位機種としてスウェプトソースOCTを搭載し、ハーフストレイト社独自のスキャン技術である「マンダラスキャンニングパターン」を採用しました。従来のスキャンタイプとは異なり、多くの円弧を重ねて測定を行いますので交差点が多く、高密度なデータを取得することにより、良質な情報とイメージ画像で診断をサポートします。

また、眼内レンズの計算にはレンズスター900で培われた白内障手術計画プラットフォームを継承し、Hill-RBFメソッドのVer.3や角膜後面の実測データを用いるBarrett計算式などの新しい度数素数計算のアプローチが加わり、トーリックIOLの挿入軸計算にも新しい世代のメソッドが導入されています。

今回のセミナーでは、岡先生にアイスター900の特徴と様々な眼内レンズインプラントでの使用経験をご紹介します。禰津先生にはレンズスター900からの進化、データ比較や臨床での運用方法などについてご講演をお願いしています。飯田先生には角膜後面データを使用したBarrett計算式の評価などについてご講演をしていただく予定です。

多くの先生方のご参加を心よりお待ちしております。



演者1



**アイスター900の
特徴と実際**

岡 義隆 先生

岡眼科クリニック 院長

演者2



**レンズスターからアイスターへ
その進化の足跡と未来へ**

禰津 直久 先生

等々力眼科 院長

演者3



**アイスター900の
ポテンシャル
~眼内レンズ度数計算式編**

飯田 嘉彦 先生

北里大学 医学部 准教授